

米沢市SDGs「わたしのなせばなる」を紹介します

企業・団体名 米沢市立松川小学校

代表者氏名 4年担任 山根 啓輔 早坂 恵

関係するSDGsの目標（ゴール）に○を書いてください。（複数選択可）

①貧困 	②飢餓 	③保健 	④教育 	⑤ジェンダー 	⑥水・衛生 
⑦エネルギー 	⑧経済成長・雇用 	⑨インフラ・産業化・イノベーション 	⑩不平等 	⑪持続可能な都市 	⑫持続可能な生産と消費 
⑬気候変動 	⑭海洋資源 	○	⑮陸上資源 	⑯平和 	⑰実施手段 

取組のタイトル

水の流れを知り、海の環境を守ろう！

取組の説明

※SDGsの各ゴールの達成にどのように貢献するかなどを記載してください。

※欄が不足する場合や写真・画像がある場合は任意様式（A4タテ）で提出してください。

私たちの学年では、水の流れについて知り、海洋汚染を防ぐために自分たちにできることを考え、実行します。

具体的な取組は次のとおりでした。

- （１）松川へお魚放流を行い、身近な川の水について考える。
- （２）社会科、理科の学習から、水の循環について知る。
- （３）松川の水質調査を行い、川的环境に興味関心をもつ。
- （４）水質汚染の原因、それが与える環境への影響について調べ、水質汚染を防ぐために自分たちにできることを考えまとめる。
- （５）海に流れ着くごみの量と種類を知り、河川の上流に住む私たちが海の環境を守るためにできることを考えまとめる。

学校のすぐそばを流れる松川（最上川）について、興味関心のなかった児童が、お魚放流を通して松川のもつ歴史的背景を知り、水質調査をしたことで松川の状態を視覚でとらえることができ、身近な松川の環境を守ろうと考えるように、川に対する見方・考え方が変わりました。海の環境を守るには、川の上流に住む私たちが環境を守る活動をするのが大切である、と考えをまとめた児童が多くいました。

小学生のころから身近な川の環境について学ぶことで、環境に対する意識の向上につながると考えられます。SDGsについて、単純に調べるだけでなく、自分たちができることを考え、これから実行していくことで、SDGsの目標の実現に寄与できるのではないかと考えます。

松川の水質調査の様子



海に流れ着いたごみの量や種類を知る様子

